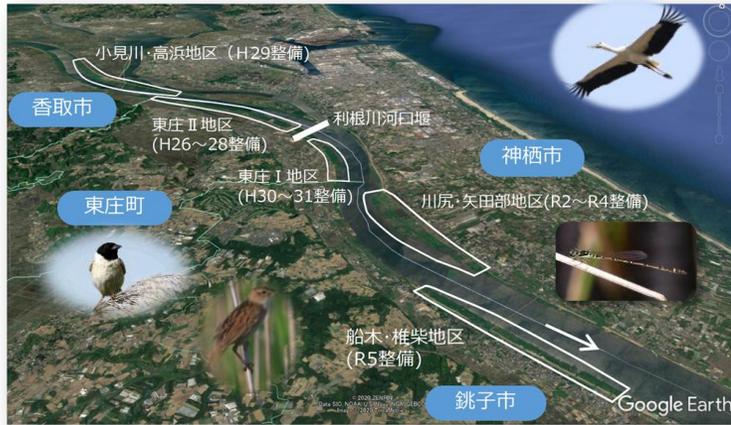


アクションプラン策定に向けた取組報告

資料-1

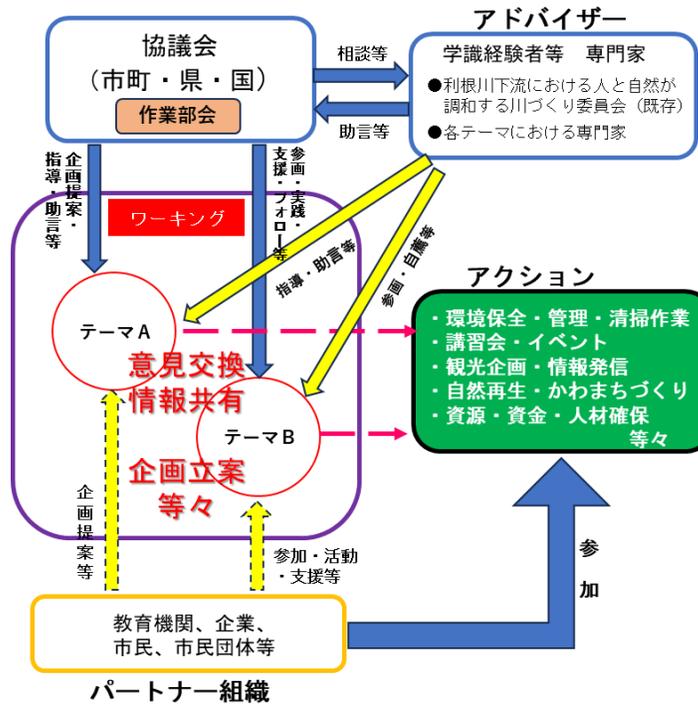
- ・利根川下流域では3市1町（茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町）のエリアを対象に平成25年から自然再生事業を実施しており、5地区の自然再生地が整備され、多様かつ貴重な生物が生息する良好な環境が形成され、近年はコウノトリの飛来・繁殖の増加傾向が見られている。
- ・自然再生地では、各自然再生地の特徴を生かした環境学習を令和3年より地元中学校と実施し、体験内容の発表や近隣住民への周知を目的としたシンポジウムを令和元年から実施している。
- ・この取組を地域づくりとして更に発展、進化させ連携強化を図るため、令和7年3月に「利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会」を設立した。



利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会 対象地

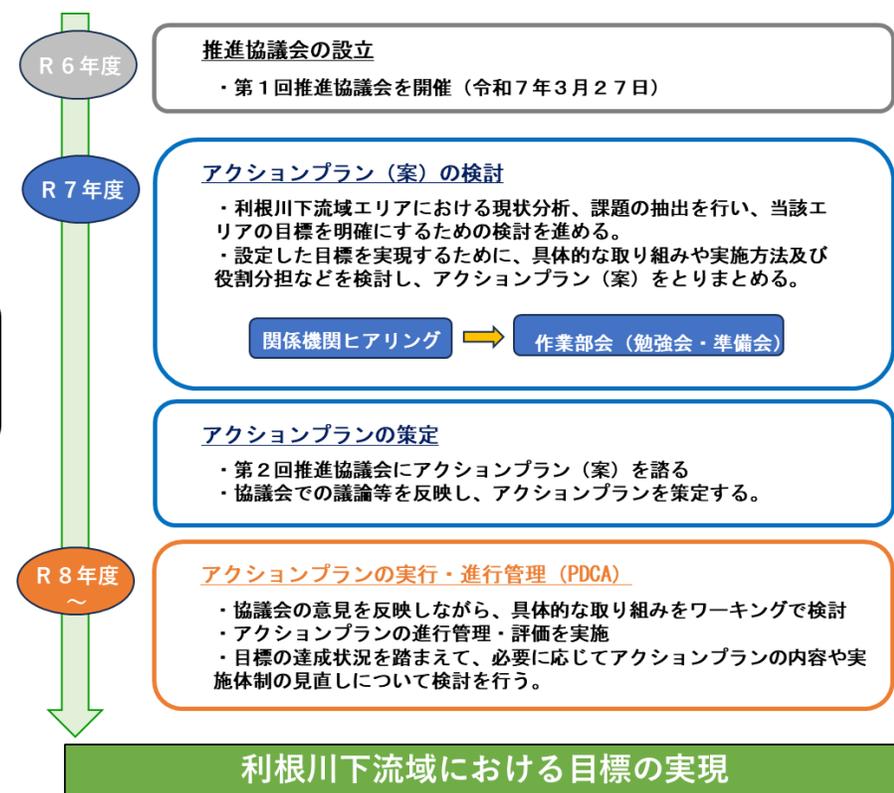


第1回利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会
開催状況（令和7年3月27日）



- （構成員）
- | | |
|----------|---------------------|
| 茨城県 神栖市長 | 茨城県 土木部 河川課長 |
| 千葉県 銚子市長 | 千葉県 県土整備部 河川環境課長 |
| 千葉県 香取市長 | 関東地方整備局 河川部 河川環境課長 |
| 千葉県 東庄町長 | 関東地方整備局 利根川下流河川事務所長 |

取組推進の枠組み



利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会
検討スケジュール

アクションプラン策定に向けた勉強会・現地見学会概要

アクションプラン策定に向けた勉強会・現地見学会

- ・令和8年2月16日（月）開催予定の第2回利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会での「アクションプラン」策定を目指し、対象地域の3市1町の担当者を交えて勉強会を2回、現地見学会を1回開催した。
- ・なお、遠方の自治体を考慮し、勉強会は対面とwebの併用とした。

■第1回勉強会

- ◎日 時：令和7年9月18日（木）15:00～17:00
- ◎場 所：利根川下流河川事務所（対面、web併用）
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、茨城県、千葉県、利根川下流河川事務所、関東地整河川環境課
- ◎意 見：
 - ・利根川右岸側にもコウノトリの巣塔を設置し、足環装着のノウハウ等の情報を自治体間で共有したい。
 - ・市民の自然再生地の認知度が低いため、まずは何を行っているのか知ってもらうことが重要である。
 - ・昔から利根川水運で結ばれてきた地域なので、自治体間で連携したい。



■現地見学会

- ◎日 時：令和7年11月12日（水）10:00～16:30
- ◎場 所：各自治体管轄内の特色ある箇所（自然再生地、観光地など）
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、利根川下流河川事務所
- ◎意 見：
 - ・地域住民は自家用車を利用する人が多いため、自然再生地には駐車場の整備が必要。
 - ・橘ふれあい公園では毎月自然観察会が開催されており、30人程度が参加している。夏場にはカヌーやSUPも体験できる。小中学生に参加してもらい、里山を知ってほしい。



■第2回勉強会

- ◎日 時：令和7年12月12日（木）13:00～15:00
- ◎場 所：利根川下流河川事務所（対面、web併用）
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、茨城県、千葉県、利根川下流河川事務所、関東地整河川環境課
- ◎意 見：
 - ・ジオパーク推進協議会や市民団体との連携、協働を強化したい。
 - ・神栖市教育センターをコウノトリ観察の拠点としたい。
 - ・できることから少しずつ取組みを広げていきたい。



アクションプラン策定に向けた関係者ヒアリング概要

関係者	立場・強み	意見	ワーキングテーマ（WGで具体化する内容）
千葉科学大学	教育（PBL/卒研）・研究（生物/水/防災）・学生動員 広域フィールド構想（千葉北東部+茨城側）	<ul style="list-style-type: none"> 利根川流域を「教育・研究の最重要フィールド」と位置付け プロジェクト学習（2年生）や卒業研究との連動 「おうえん協議会」資金（年100万円）のPBL活用 水生生物・昆虫・希少種の継続モニタリング体制 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校体験学習への大学関与モデル（講義+実習+発表支援） 継続モニタリング設計（項目・頻度・体制・データ管理） データ取扱いルール（所有権/公開範囲） 学生参加の安全管理・保険・移動設計 令和9年秋「全国海づくり大会」見据えた発信企画
神栖市 政策企画課	<ul style="list-style-type: none"> 企業版ふるさと納税 高校包括協定等の制度 	<ul style="list-style-type: none"> 継続体制・人材育成・予算確保・PR不足が主要課題 企業版ふるさと納税は「市事業に紐付け」れば支援可能 高校連携（市内3校包括協定）活用 	<ul style="list-style-type: none"> 観察拠点の暫定整備（繁殖期対応の運用案、立入制限、看板） PR動画・SNS（専門知識×学生感性）体制づくり 企業版ふるさと納税スキーム具体化（対象事業設計、返礼/顕彰） 中高連携モデル（波崎二中→波崎高等）
波崎野鳥の会 （神栖市）	<ul style="list-style-type: none"> コウノトリ等の保全知見・観察実績 学校環境学習実績 	<ul style="list-style-type: none"> コウノトリ、ヤマトシジミ、ヒヌマイトトンボを地域シンボル化 人工巣塔設置に向けた河川管理者との継続協議 ヨシ原維持管理（外来種繁茂、草刈り予算） 指導者不足・拠点不足・安全確保 「コウノトリ育むお米」等の農産物ブランド化 	<ul style="list-style-type: none"> 人工巣塔・営巣環境整備のロードマップ整理 観察拠点整備要件（駐車場、導線、看板、立入ルール） ガイド養成講座+教材標準化（教員負担軽減） ライブカメラ等の常時学習コンテンツ モニタリングデータ共有プラットフォーム（広域） マナー・規制と活用のバランス（ルール策定）
銚子ジオパーク 推進協議会 （銚子市）	<ul style="list-style-type: none"> 学び・発信の枠組み ジオパーク周遊設計 	<ul style="list-style-type: none"> 参画は前向き。段階的に拡大する進め方が妥当 船木・椎柴自然再生地は中学生将来像を反映した象徴資源として活用価値大 課題は財源・人材・受入環境（アクセス/看板/安全） 体制図で「市民団体」枠は不適切→連携パートナー等へ修正 河川基金活用（バス・機材・講師謝金等） 	<ul style="list-style-type: none"> 体制図・連携形式の整理（覚書/協定/協力団体登録等） 学校連携の継続支援（助成金を前提にした運用） 現地の簡易案内（看板・導線情報）整備方針 ガイド育成（養成講座）企画 安全点検・草刈り等の維持管理ルールの役割分担 商工会・観光協会向け「簡易版資料」の作成
佐原商工会議所 （香取市）	<ul style="list-style-type: none"> 観光・経済・ストーリー設計 過去のアカデミックツーリズム実績 発酵文化×高付加価値観光 	<ul style="list-style-type: none"> 自然+歴史文化+食文化の統合が核 「アカデミックツーリズム」実績を活かす インバウンドは護岸の歴史・発酵食等の"物語"が刺さる 「光る場所」を先につくり企業が参画したくなる背中を見せる 大学ネットワーク活用 企業関与を段階設計（スポンサー→連携→戦略パートナー） 	<ul style="list-style-type: none"> 広域ストーリー（自然再生×発酵×歴史）作成 高付加価値層向け商品（ガストロノミー/学び）設計 企業参画メニューの段階設計（特典・可視化） 成田空港導線含むインバウンド受入の検討
ボランティア集団 山人（やまと） （香取市）	<ul style="list-style-type: none"> 20年超・会員151名と大規模 里山拠点（古民家）、観察会運営ノウハウ 市民参画の"場づくり" 	<ul style="list-style-type: none"> 「箱物」ではなく住民が魂を入れる「空間・場」の創出 多世代交流（異年齢の子供）とリスク体験の教育的視点 既存資産（田園空間博物館等）の再定義とネットワーク化 観察会は一方向講義でなく交流型が継続の鍵 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型プログラム設計（観察会の内容、運営手法） 利根川と里山拠点を結ぶウォーキング・観察ルートの開発 学校連携での講師・サポーター参画 目撃・開花等のリアルタイム情報共有の仕組み 整備に「余白」を残す設計ガイドライン
東庄町 まちづくり課	<ul style="list-style-type: none"> ヨシ原（日本最大級）と環境学習（令和2年～）が資産 公式SNS発信協力 	<ul style="list-style-type: none"> 最優先は認知度向上（住民・来訪者） 町公式LINE/Instagramで発信可能（頻度・素材を具体化） 受入環境（駐車場、アクセス、現地の仕掛け不足） ヨシ焼きは苦情リスクあり：周知・基準・窓口手順が必要 自然ガイド不足：発掘→登録→活動の仕組み ヨシ製品は展示・WS等の現実解 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の運用設計（素材、地図、投稿頻度、役割分担） 現地解説パネル・マナー表示の整備（短期で実装） ヨシ焼き実施判断基準・周知パッケージ・運用マニュアル 自然ガイド人材の発掘・登録制度 ヨシ製品の展示・小規模WS、公園の四阿の茅葺屋根PT ヨシ循環サイクル（焼き→刈り取り→葦簀・ヨシ紙）の確立

第7回利根川下流域自然再生シンポジウム概要

環境学習の拡大、シンポジウム開催

- ・令和3年から開始した地元中学校を対象とした環境学習を、今年度は利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会の対象地域である3市1町（神栖市立波崎第二中学校、銚子市立銚子西中学校、香取市香取中学校、東庄町立東庄中学校）で実施した。
- ・学習内容の発表の場として「第7回利根川下流部自然再生シンポジウムin香取」を、小見川市民センターいぶき館にて令和8年2月6日（金）に開催した。

R7年度環境学習 開催状況



座学（香取中学校）



野鳥観察（波崎第二中学校）



ヨシズ作り（東庄中学校）



漁業観察（銚子西中学校）

R7年度シンポジウム 開催状況



基調講演
（日本建設情報総合センター 三橋氏）



話題提供（香取市 行木氏）



環境学習 中学生発表



パネルディスカッション

開催テーマ
水郷・利根川の魅力を地域とつむぐ

基調講演
利根川流域と渡良瀬遊水地
三橋 さゆり 一般財団法人 日本建設情報総合センター 理事

話題提供
水郷地域や歴史的な資源を活用した観光振興の取組
行木 章 香取市役所 商工観光課 観光課長

発表
利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して
香取市立香取中学校1・2年生 東庄町立東庄中学校2年生
銚子市立銚子西中学校1年生 神栖市立波崎第二中学校1年生

パネルディスカッション
コーディネーター 坂 有希子 鳥類専門家
パネリスト 伊藤 友朋 香取市長 三橋 さゆり 日本建設情報総合センター 理事
田畑 光穂 香取中学校 校長 齋 重一郎 千葉県水産総合センター 内次郎水産研究所 所長
柳瀬 弘 環境学習会 会長
三枝 伸太郎 利根川下流部事務局 事務局長

第7回
利根川下流部
自然再生シンポジウム
in香取

本シンポジウムは、土木学会CPD認定プログラムです。

開催日 **2月6日（金）** 受付開始 12:30 ~ 13:00 ▶ 15:30 **総額 1/28 水**

会場 **香取市小見川市民センター いぶき館**

参加費 **無料** 会場 **100名** オンデマンド **200名** 事前登録 **200名**

問合せ先 国土交通省 関東地方整備局 利根川下流部川事務所 流域治水課 TEL 0478-52-6366 担当 田村・降幡

共催 国土交通省 関東地方整備局 利根川下流部川事務所

協賛 香取市 東庄町 銚子市 神栖市

協力 千葉県内水面漁業協同組合連合会 茨城県内水面漁業協同組合連合会